

関市【池尻地区】

【地域の概要】

- 関市の北西部に位置し、長良川流域にある平坦な地区。
- 40haの優良農地が連担している。
- 営農組合が中心となって、地区内の農地を管理。
- 関市の観光地として、小瀬鶉飼が有名。

取組開始前の状況や課題

【状況】

○平成28年度に15名で池尻営農組合を設立

- ・5年後の法人化を目指す
- ・作付状況（営農組合）

主食用水稻	3ha
飼料用米	1ha
麦	7ha
大豆	5ha
合計	16ha

- 地区内には他に農業法人が1社存在
- 農地の区画が狭いため、面的整備が必要

【課題】

- 農地の集積、集約化
- 計画的なコスト削減
- 新規就農者・担い手の確保
- 継続的な農地の確保対策及び農地の有効活用

取組内容

法人設立に向けた検討会の開催

○令和3年8月から県・市・JA・アグリチャレンジセンターと計8回の検討会を開催

- ・中小企業診断士によるカルテ作成
- ・事業計画についての打ち合わせ
- ・事業目論見書・定款・規約・規定の作成



法人設立に向けての検討会

今後の展開と方向性

法人設立

- 設立総会（令和4年4月3日）
- 法人化によるメリットを活かす
 - ・節税効果
 - ・補助金活用の拡大
 - ・機械の共同利用による経費の節減
- 奨励作物である円空さといもの栽培面積の拡大
- 麦・大豆の転作面積の拡大

地域内の保全・管理

- 地域内の耕作放棄地の解消

法人への集積

- 農地中間管理機構を活用した農地の集積

新たな担い手の確保・集積

- 新規就農者の確保
- 担い手への集積